



会報 みこしだこ

旧東海諸品川宿周辺まちづくり協議会

〒140-0001

品川区北品川 2-28-19 TEL03-3472-4772

URL <http://japan-city.com/sina/>

BLOG <http://shukubashi.exblog.jp/>



1月2日、品川宿交流館開館！
8日には開館記念式典を開催。

新春早々の2日、おだやかな晴天にも恵まれ、品川宿交流館がついに開館の日を迎えた。当日は初詣と東海七福神めぐりのお客様がお立ち寄りくださり、実に1千名を超える皆様にご利用いただき、順調にスタートすることができた。お茶のサービスも大変好評で、その後も松の内の間は、1日平均6百人前後のお客様がほとんどひっきりなしに訪れてくださった。8日には、品川区長をはじめ、町会、商店街、そしてこの交流館の改築にご尽力くださった関係者の皆さん、協議会の会員各位が多数ご列席くださり、盛大に開館記念式典を開催することができた。また品川歴史館のご協力をいただいた2階展示室の「有坂与太郎と東海七福神」展と、1階の各7寺社の写真パネル展示も、七福神めぐりのお客様にはタイムリーな企画で、大変ご好評をいただいた。まずは順風満帆の船出をすることができ、関係者各位に心からお礼を申し上げます。深謝。



創立20周年記念式典開催される。

当協議会も早いもので、昨年の平成20年に創立20周年を迎えた。しかしこの段階ですでに「品川宿交流館」の開館準備が進んでいたため式典は先送りとし、交流館開館後の2月17日に関係者各位をお招きし、恒例の新年会と併せて正式な記念式典を開催することとした。

これまでお世話になった皆様に広く式典をご案内したところ、実に250名を超える方々にお越しいただき、会場のホテルラフォーレ東京はお祝いムードと熱気に包まれた。

当日は事前に、堀江会長自身が語る「まちづくり協議会20年の歩み」のビデオ映像を作成し皆様にご覧いただき、また20年の歩みをまとめたパンフレットをお配りした。

この種の記念式典はとかくおさなりに流れがちだが、この日の会場の熱気はものすごく、あちこちのテーブルでまちづくり活動や、この20年間の思い出を熱心に語り合う姿がみられ、中座される方もなく、われわれ協議会は本当に、多くの力強い応援団に恵まれていることに感謝の思いを強くすると同時に、これまでやってきたことは決して間違っていないと確認できた一夜であった。

なおこの日、上映したビデオ映像は、品川宿交流館の開館にあわせて購入した最新鋭の機器類を駆使して内部で作成したもので、これからの会の活動に新しい分野を切り開くものとして期待されている。



冠木門、南側路地など、 周辺整備も完成!

品川宿交流館の整備と併せて、東京都産業労働局観光部の支援をいただいて「江戸東京・まちなみ情緒の再生」事業の一環として工事を進めていた、西側駐車場の冠木門と自動販売機、南側路地の石畳整備が完成し、交流館を中心としたまちなみ情緒が整備され、品川宿の「新しいおへそ」が誕生した。

観光や視察でお見えになる皆さんからも「なんか、ほっとする空間ですね」、「うちのまちなみにもこんな施設がほしい」、「こんなもてなしをしてくれるまちは、他にありませんよ」などと、大変に好評をいただいている。整備にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



第1回まちづくり連合会議が 開催されました!

最近、品川宿周辺では様々な切り口のまちづくりが行われるようになってきました。そこで、各会の活動をお互いが把握しあうことで、動きの重なる部分は協力し、またお互いの催しをPRしあい、力が足りない部分を補いあうことができたなら、品川宿周辺の活性化に向けた動きを更に力強いものにできるのではないかと考えております。

このような趣旨で各団体に呼びかけ「第1回まちづくり連合会議」を去る2月19日(木)20:30~品川宿交流館にて開催され、各会代表者を中心としたメンバー約20名が参加しました。

- 参加団体は以下の通り(順不同)。
- ◎NPO法人東海道品川宿(空き店舗対策(区との窓口含む)・品川宿周辺の雇用促進・手漕ぎボート専用機管理・まちづくり事業)
 - ◎横浜川通(空き店舗対策の実務(あぶりや達・居残り連・参道レストラン品川亭の経営))
 - ◎NPOおばちゃんちと協力して「品川宿おばちゃんち」運営協力・ギャラリー連運営協力)
 - ◎品川青年会(荏原神社例大祭運営・天妙園寺盆踊り主催・桃中軒雲右衛門をしのぶ浪曲の会協力)
 - ◎品川礎会(名所旧跡案内板設置管理・虚空蔵尊春季・秋季大祭緑日の開催及び元氣フェスタしながわの開催)
 - ◎NPO法人おばちゃんち(「品川宿おばちゃんち」実務運営・子育てママのイベントの開催や協力)
 - ◎勝島運河倶楽部(勝島運河、天王洲運河を中心に水に親しむ文化を育てることを目的に、手漕ぎボート体験会やイベントを開催・水辺の他地区との交流も多数)
 - ◎Jr北品川(商店街活動を通じたまちづくり(品川宿お土産館の運営・品川宿小判の発行・品川宿謎解きラリーの開催・にちよう市の開催協力))
 - ◎品てづくり市の会(品川てづくり市の開催(毎月第二日曜)・クロモンカフェ開店・にちよう市への協力・地元店舗紹介情報発信)
 - ◎しながわ運河まつり実行委員会・なぎさの会(しながわ運河まつりの開催)
 - ◎小学校対抗駅伝実行委員会(品川宿周辺の小学校を対象とし、東海道を使った学校対抗駅伝大会を11月に計画)
 - ◎旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会(まち並み景観事業(品川区との窓口)・品川宿交流館の運営・新宿お休み処 駄菓子屋またあした運営・まち歩きマップの発行・東海道各宿との交流)

※その他にも品川宿で外国人旅行者向けゲストハウスの経営を目指す渡辺氏も出席。上記の様に、これだけ多くの団体が品川宿や周辺の活性化のために日頃から活動して下さっているという、まちの持つポテンシャルを再認識し、また心から嬉しく思っております。今回の試みは、品川宿交流館という拠点の「来宿者をもてなす」という目的同様、「品川宿周辺の交流拠点とする」という大きな目的が、今回正に実現した形となりました。今後も定期的にこのような会議を開催する他、各会の会議にも会場提供するなど、積極的に協力をし、まちの活性化の重要拠点として役割を果たして行きたいと考えております。

しながわ運河まつり2009

晴天の天気と満開の桜、そして2日間で30,000人を超えるお客様のおかげで、大盛況のうちに終了することができました。



開催にあたっては、地域の皆さまに様々な場面で、ご支援やご協力を賜り、誠にありがとうございます。今思い返しても、嬉しくて涙が出そうになるほど、この街の暖かさを肌で感じる事ができた一年でした。私たちが実行委員会のメンバーの多くは、この数年で品川に引っ越してきた新しい住民です。しかし、私たちの子どもは、品川で生まれ、品川で育ち、この品川を故郷にして大人になっていきます。そんな子どもたちに、より良い故郷を残すために、誇れるような故郷になるように、同じように新しい仲間たちにこの街の良さを知ってもらえるキッカケになるようにという思いからこの運河まつりを企画いたしました。これからも、できることをひとつずつ形にしていくことで、地域で活動されている皆さまと一緒に、まちづくりの、1ピースになれば幸いです。

本当にありがとうございました。
しながわ運河まつり 実行委員会



「景観まちづくり」の開催

平成18年から足掛け3年、品川区の景観行政団体指定の準備に伴う、旧東海道品川宿をモデルにした景観条例の検討が行われてきました。20年4月から年末まで行われた景観計画に対する地域住民からの意見の汲み上げ(公聴活動)及び今後の地域づくりの評価の基準となる、地域内歩行者交通量調査が執り行われるのと並行して、21年3月まで、21年度中の景観条例案作成に向けた条例案の骨子について品川区と話し合いが行われました。協議会の基本的な考え方は、地域の方が参加してまとめた「まちづくり計画書」を、条例という法文化の中でどう表現して行くかということ品川区に要望してきました。更に条例の運用に、地域住民が直接参加できるような仕組みを求めて居ります。地域の景観についての思いは、条例の運用を通して地域で議論し、発展させていくべきだと認識に基づいているからです。品川区は、このような検討を踏まえ20年末から東京都と調整に入り、21年末に向け景観条例案の作成を進めていく事になります。まちづくり協議会としては条例案が広く地域住民に公開され、多くの方がまちの景観に関心をもって参加して行けるように発言してまいります。

東海道検定、無事?終了

堀江会長が副理事長を務めるNPO法人「歴史の道東海道宿駅会議」が主催するもので今年が第二回目。合格すると「東海道マイスター」の称号が与えられます。3月15日、昨年同様平出さんが試験官。協議会のメンバーの他に大磯から石井さん、神奈川から湯川さん、東海道ネットワークの会の秋山さんが駆けつけてくださり設営や道案内等のお手伝いをしました。ただ会場の大崎ゲートシティホールは大変立派な施設。看板は立てちゃならん、張り物などとてもない。案内板を持って立つのも届出が必要、しかも動いちゃいかん。我々のような若い人間は開始直前まで右往左往してしまいました。全国4会場のうち東京神奈川地区での今年の受検者は約60名。来年は600名欲しいですね。皆さん是非受検しましょう。

会報 みこひだこ

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

住所 品川区北品川 2-28-19 電話 03-3472-4772 FAX 03-3472-4770

メール machikyo@west.cts.ne.jp URL <http://shinagawa-syuku.net/>



謹賀新年

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災以降、まだまだ大変に厳しい状況が続く中ではございますが、一言、新年の祝辞を申し上げます。

この度の大震災に際しましては、会員の皆様も有形無形、様々な形で被害を被られたことと思いますが、当協議会では、多くのメンバーが早々に復旧のボランティア活動に参加し、被災された各地の方々と心をひとつにする体験を得たようです。

このボランティア活動を通じて多くの方が「被災地の人々の明るさ、やさしさに逆に励まされた」という言葉を口にする姿をよく見聞しました。私自身も実際、日頃から親しい交流を続けている、郡山の若手商店主たちのグループである「商店街きらめき21研究会」の皆さんをお見舞いした時にも実感したことです。郡山の仲間もやはり、活動拠点のひとつであった郡山商工会議所の建物が壊滅的な被害を受けながら、いち早く立ち上がり、商店街活動のみならず、学校の放射能除染など地域の復興に取り組んでおり、そのひたむきな姿には、本当に感動しましたし、また多くのことを教えられました。

そして9月の「しながわ宿場まつり」には、多忙の中、郡山からその仲間が駆けつけてくださり、持ち前の明るさとパワーでまつりを大いに盛り上げてくれました。改めて心から感謝します。これからもお互いに刺激し合い、よりよいまちづくりにつなげていきたいと思っております。と同時に、まだまだ先の長い復興に向けて腰を据えた協力を続けていきたいと考えています。実はこの震災の直前に、東品川海上公園の浮き桟橋が老朽化のために漂流してしまうアクシデントが発生

し、この件では品川区の皆様には大変なご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。この場をかりて心よりお詫び申し上げます。またその一方で、この浮き桟橋の再興に当たりましては、五洋建設株式会社の多大なるご協力をいただき、これを再び設置できる運びとなりました。本当にありがとうございます。当会並びに、周辺の水辺の活用に取り組む関係団体を代表して深く感謝いたします。

さて本通り商店会で長く親しまれてきました「駄菓子屋またあした」を昨年夏、交流館へ移転することとなりましたが、この際に、誠に幸いなことに入れ替わるようにして、街道関係の古書資料を扱う田中義巳さんが入居していただきました。そして早速、会にも加わっていただき、店では八千点もの資料を展示販売する他、従来通り「新宿お休み処」の機能も残して下さることになり、品川宿にまた新しい名所が加わることになりました。

こうした新しい動きは、おかげさまで品川宿では日々大変に活発です。月例の運営委員会には毎回、必ず新しい議案が持ち込まれ、活発に議論されています。本年もまた皆様に少しでもよいご報告ができますよう、メンバー一同、楽しく活動していきたいと考えております。

さて最後になりますが、いつも会の活動に絶大なるご支援いただき、また私たちがいつも声援を送り続けているサッカーチーム・FC東京が、今シーズン見事にJ2で優勝を飾り、早々にJ1へと復帰してくれたことは、本当にうれしい出来事でした。関係者の皆さんには心からお祝いを申し上げますと同時に、今年度の躍進を一同、心より祈念しております。

会長 堀江 新三

品川宿交流館 本宿お休み処

2月より品川宿交流館に勤務させていただいております竹中と申します。「スポーツを通じたまちづくり」をテーマに、品川区商店街連合会事務局や、サッカーコーチなどの活動をしてきました。これまでに学んできたことを活かしてまちづくり協議会の活動に貢献できるように努めていきたいと思っております。品川宿交流館の3カ月間の活動についてご報告させていただきます。

◎来館者

晴れた日には、平日で40名～70名。土・日・祝日となると100名～200名のお客様に来館していただいております。「まち歩きマップ」を片手に、品川宿周辺を散策される方、日本橋から東海道をひたすらウォーキングする方、生まれ育ったまちを懐かしさとともに歩く方、大勢のお客様が交流館を訪れています。

◎取材

- 1月 読売新聞、朝日新聞
- 2月 日刊ゲンダイ新聞
- 3月 テレビ東京
「レディス4～旧東海道品川宿穴場めぐり～」
(3/20放送)
- 4月 NHK「おはよう日本」(4/11放送)
「夕時ネットワーク」(4/16放送)
テレビ朝日「東京サイト」(4/29放送)
「ちい散歩」(4/30放送)
日本経済新聞(5/3掲載)

◎視察

- 1月 川崎宿視察団(1/8)
- 3月 今様・草加宿実行委員会(3/1・3/7)
長野県議会自民党県議団(3/25)

◎4階会議室利用状況

- 1月 東海道ブロック会議(2/17)
- 2月 品川宿周辺の活性化連合会議(2/19)
- 3月 しがわ観光協会
観光ガイドボランティア講座
(2/25・3/4・3/11・3/18・3/25)
しがわ宿場まつり実行委員会(3/13)
- 4月 運河ルネッサンス協議会(4/30)
- 5月 NPO法人ふれあいの家おばちゃんち
総会(5/24)

◎FC東京しがわプロジェクト

FC東京と旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会が協働し、文化とスポーツによるまちづくりを実現することを目的に、「FC東京しがわプロジェクト」が設立されました。品川宿交流館の1階には、Jリーグの順位やPRコーナーを設置し、FC東京キッズクラブや中学生クラブの申し込みをお手伝いすることになりました。また、地域イベントにおいても積極的な活動を展開していく予定です。まちづくり協議会は、さまざまな形で、FC東京様からのご支援をいただいております。

日々の出来事は、ブログ「交流館スタッフの気ままな日常」にて発信しています。ぜひご覧ください。

特別展示、第2弾

品川宿へタイムスリップ!

品川宿交流館2階展示室では、タイムスリップ品川宿「大正末から昭和初期のまちと祭り」と題して、飯島寿さんの写真と竹内重雄さんの絵を展示中(5月3日から9月末を予定)。



飯島寿さん(明治29(1896)年～昭和34(1959)年)は、大正時代から北品川で写真館を経営するかたわら趣味で、品川宿の人々や、まちの様子、お祭りなどを撮影し、数多くの作品を残している。展示した写真は、飯島さんが、大正から昭和の初めにかけて「ガラス乾板」に撮影したもので、まるで時代劇のセットのような品川宿のまち並みや、古い祭りの様子を知ることができる。竹内重雄さん(明治43(1910)年～平成3(1991)年)は中学時代から油絵を学び、早くから才能を開花させた方で、明治大学を卒業後、ダンスアカデミー、帝国飛行学校を終了するなど、常に時代の最先端に関心を寄せていた。その作品は、大正の初めから昭和にかけて庶民の間で流行した風俗を題材にした秀作が多い。特に生まれ育った浜川(大井町)の克明な絵地図や、盛り場としてにぎわった品川宿周辺の風景、風俗を描いた絵は、歴史的な証言となる貴重なものだ。皆さんもぜひ足をお運びいただき、なつかしい風景をお楽しみいただきたい。また期間中、1階では品川神社の白木の奉納神輿も展示している。

(展示協力:品川歴史館、品川神社)

